

描くことが 自分を強くする

Profile みやがわ・たくや

平成13年8月30日生まれ。菊池南中学校、大津高校普通科美術コース卒業。現・崇城大学芸術学部美術学科洋画コース1年生。第81回銀行展南風堂賞。令和元年度熊本県高等学校風景画コンクール特選。熊日美術展公募「くまもと『描く力』2020」グランプリ部門米田耕司賞。3兄弟の長男。甲森北区在住。19歳。

幼い頃から引越して越して県内各地を転々としてきた。「自分の中で落ち着く場所を求めているのかもしれないですね」。穏やかな動物や風景が描かれた絵にはその思いが現れている。「くまもと『描く力』2020」に出品した『菊池市の夕景』もその一つ。「一目で菊池と分かる景色を描いて、懐かしさや親しみを感じてもらえたら」。何度も現地へ足を運び約3カ月半かけた作品は、グランプリ部門の審査員賞を受賞した。

「賞を取ると自信につながる」。中学生までダンスや短距離走などに打ち込むも思うように力を発揮できずにいたそんな中、中学風景画コンクールで入賞。絵が自分の「強み」へと変わっていった。「絵は自分を成長させてくれるもの。一生残るものだから、人に見せても恥ずかしくないものを生み出したい」。何度も色を塗り重ね、納得のいくまで制作する。

「描くことに答えはないから、行き詰まることも多くて」。実物を忠実に描く中で自分の色をどう出していくか、日々模索している。どうしたら良いか分からず、途中でめちやくちやに絵を塗りつぶすことも。自分の意図しない色が入ることで新たな発見も生まれる。将来は芸術関係の仕事に就くのが夢。「絵がない人生なんて考えられない」。もっと着実に力をつけ、上を目指すため描き続ける。「絵で苦しんで、悩め」。高校の恩師からの言葉を胸に、今日もキャンパスと向き合う。

「菊池人」 希望者を募集します

新しいことに挑戦している人、伝統を受け継いでいる人など、菊池で頑張っている人を募集します。本市在住であれば自薦・他薦は問いません。詳しくは市長公室までお問い合わせください。

問い合わせ先

市長公室広報交流係
☎ 0968(25)7252

菊池人
91

崇城大学芸術学部美術学科1年

宮川 拓也さん



1_菊池公園から隈府の町並みを描いた『菊池市の夕景』は中央図書館で展示中 2_ウシの畜産を営む母の素子さんは受賞を誰よりも喜んでいて 3_描きたい風景や対象物は入念に観察。父から譲り受けたカメラで満足いく構図が撮れるまで撮影する